提出期限：令和7年3月21日(金)

令和7年3月21日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	奥野貴士	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名 かるほく未来創造Lab	
	氏名	所属
活動名	～かるほく～ かみのやま・フルーツディスカバリー	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	山形県（当初の計画を変更し、山形県の農家及び加工業者とのつながりへと展開した）	
活動報告	<p>《活動内容》</p> <p>「ラ・フランス」の新たな魅力創出と発信に向けた取り組み 山形の果物の新たな魅力を創造・発信するため、本活動では山形特産の「ラ・フランス」に着目しました。温暖化の影響による農業従事者の課題を把握するため、学生とともに現地を訪問し、農家の方々への取材を実施。また、山形県が現在推進している規格外品の六次産業化に関して、加工企業への取材を行い、現状の課題を調査しました。</p> <p>さらに、県内の状況把握にとどまらず、県外で一般消費者を対象としたアンケート調査を実施。その市場調査の結果をもとに商品開発を行いました。完成した商品は、協力いただいた農家や加工企業の方々とともにイベントで販売し、来店したお客様に直接活動の背景や商品の魅力を伝えました。</p> <p>、山形大学のJUHYOプログラムと連携し、SNSマーケティングを活用した魅力発信について学生と検討。作成した画像や動画を活用し、より多くの人々に山形の「ラ・フランス」の新たな魅力を届ける取り組みを行いました。</p> <p>《実施した効果》</p> <p>「フルーツディスカバリー」を通じて参加学生が、改めて農家さんの「思い」や「現状の課題」を知ることができ、「六次産業化」についても加工企業様を通じて重要性を知ることができた。</p> <p>温暖化の影響で農業が大きく変わっていく可能性もある中で、今回の活動から農業の課題は自分事として捉えて、学生の山形の果樹栽培に関する理解を深めることが出来た。</p>	

(裏面あり)

実施スケジュール	≪スケジュール≫ 1) 生産者への訪問 2) 加工企業への訪問 3) 商品の規格検討 4) 県外へのヒアリング調査 5) 商品コンセプト・パッケージ作成 6) イベントでの出店						
支援金の用途報告	合計 100,000 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	事業委託費 (縁と縁)	企画運営	1	×	1	=	10万円
				×		=	円
				×		=	円
				×		=	円
次年度の計画について	次年度も引き続き、山形大学の学生と農家及びその関連企業を繋ぐ企画運営をさせていただければと思います。申請者が思いの外、多忙であり運用を理学部OBで学生と活動している「縁と縁」代表の大崎様と協働運用とさせていただきます。また校友会でサポートいただいているJUHYOプログラムとの連携により、企画が円滑に進めることが出来ました。ご支援いただきましたことお礼申し上げます。次年度、寒河江市との連携が新たにスタートするため、寒河江市との企画か、朝日町のりんご栽培の危機的状況を体感するなど、適時企画を進めていければと思います。						
本事業へのご意見・要望	使途の自由度が高く、事務の方も柔軟に対応いただけるため、有効に研究費を使わせていただいております。						
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。							

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp